

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭

科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

A 組～ D 組

教科担当者：

使用教科書： ( ウェルビーイングにつなぐ 家庭総合 (教育図書) )

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な知識を習得し、技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】

生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解するとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯の生活設計と青年期の自立 (A編 第1・2章) 【知識及び技能】 18歳成人としての権利と責任、および自立に必要な「5つの自立」を理解し、家族・家庭の役割や法律の基礎知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の将来の生き方について客観的に分析し、具体的なライフステージに応じた生活設計 (ライフプラン) を工夫して立て、表現する。ワーク・ライフ・バランスの視点から、将来の職業生活と家庭生活の在り方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来のライフイベントを自分自身の課題として捉え、男女が協力して家庭や地域を築くことに関心をもち、前向きに考える。	・生涯の生活設計 (ライフイベント、意思決定) ・青年期の自立 (5つの自立等) ・家族・家庭の機能と変化、家族と法律・福祉 ・ICT: 将来像の共有、資料調査、これであなともひとりだち	【知識及び技能】 18歳成人としての権利と責任、および自立に必要な「5つの自立」を理解し、家族・家庭の役割や法律の基礎知識を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の将来の生き方について客観的に分析し、具体的なライフステージに応じた生活設計 (ライフプラン) を工夫して立て、表現している。ワーク・ライフ・バランスの視点から、将来の職業生活と家庭生活の在り方を考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 将来のライフイベントを自分自身の課題として捉え、男女が協力して家庭や地域を築くことに関心をもち、前向きに考えている。	○	○	○	10
	B 高齢期の生活と福祉 (A編 第4章) 【知識及び技能】 高齢者の心身の特徴や生活を支える社会保障制度を理解するとともに、日常生活における適切な介助や関わり方の基本を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者疑似体験などを通して、高齢者の自立を支えるために自分や社会ができることを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の尊敬と自立を尊重し、共に支え合う社会 (共生社会) の構築に向けて、自分ができる役割を見つけようとする。	・高齢期の特徴、健康課題 ・高齢者疑似体験 ・介護・福祉制度、地域の支え合い ・ICT: 制度調べ、まとめ共有	【知識及び技能】 高齢者の心身の特徴や生活を支える社会保障制度を理解している。また日常生活における適切な介助や関わり方の基本を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者疑似体験などを通して、高齢者の自立を支えるために自分や社会ができることを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の尊敬と自立を尊重し、共に支え合う社会 (共生社会) の構築に向けて、自分ができる役割を見つけようとしている。	○	○	○	12
	定期考査				○	○	
2 学 期	C 衣生活と被服製作 【知識及び技能】 被服の役割や材料の性質を理解し、ミシンや手縫いの基本的な操作を習得して、実用的なエプロンを製作する。 【思考力、判断力、表現力等】 着目的や好みに合わせ、機能性やデザインを考慮したししゅうを考え、より良い着装や手入れの方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に粘り強く取り組み、自分の持ち物を大切に扱ったり、目的に合わせた衣服の選択や管理を実践しようとする	エプロン製作：ミシン準備→裁断→縫製→仕上げ→振り返り ICT：やり方動画の視聴	【知識及び技能】 被服の役割や材料の性質を理解し、ミシンや手縫いの基本的な操作を習得して、実用的なエプロンを製作している。 【思考力、判断力、表現力等】 着目的や好みに合わせ、機能性やデザインを考慮したししゅうを考え、より良い着装や手入れの方法を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に粘り強く取り組み、自分の持ち物を大切に扱ったり、目的に合わせた衣服の選択や管理を実践している。	○	○	○	16
	D 経済計画、消費生活と意思決定 (C編) 【知識及び技能】 家計の構造 (収入と支出) やキャッシュレス決済の仕組み、資産形成の基礎を理解し、生活にかかるお金とリスクを把握する。また、契約の仕組みや消費者の権利と責任を理解し、ネットトラブルや悪徳商法などの消費	意思決定プロセス、契約と成年年齢、キャッシュレス決済、事例分析 ICT: 資料収集・比較、振り返り入力	【知識及び技能】 家計の構造 (収入と支出) やキャッシュレス決済の仕組み、資産形成の基礎を理解し、生活にかかるお金とリスクを把握している。また、契約の仕組みや消費者の権利と責任を理解し、ネットトラブルや悪徳商法などの消費				

	<p>者被害を防ぐための対処法や相談先を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 多様な情報の中から必要なものを選び出し、自立した消費者として適切な意思決定を行い、トラブルへの対応策を論理的に考える</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 家計管理を自立した生活の基盤として捉え、無駄のない消費行動や将来を見通したお金の使い方に主体的に取り組もうとする。</p>	<p>付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 多様な情報の中から必要なものを選び出し、自立した消費者として適切な意思決定を行い、トラブルへの対応策を論理的に考えている</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 家計管理を自立した生活の基盤として捉え、無駄のない消費行動や将来を見通したお金の使い方に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10	
	定期考査		○	○		1	
3 学 期	<p>E 子どもの生活と保育</p> <p>【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達、遊びや児童文化の意義、親の役割と子育て支援制度について理解し、子どもと関わるための基礎的な技能を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健やかな成長を支えるための環境や関わり方について課題を発見し、おもちゃの製作等を通して具体的な解決策を形にする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生命の尊さを認識し、自分が将来保育に関わる存在であることを自覚して、地域の子育て支援や多世代の交流に協力して取り組もうとする</p>	<p>・子どもの発達と生活</p> <p>・遊びと児童文化</p> <p>・子育て社会の課題</p> <p>・簡単なおもちゃ製作</p> <p>ICT：発達段階の調査、発表</p>	<p>【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達、遊びや児童文化の意義、親の役割と子育て支援制度について理解し、子どもと関わるための基礎的な技能を身に付けている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健やかな成長を支えるための環境や関わり方について課題を発見し、おもちゃの製作等を通して具体的な解決策を形にしている</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生命の尊さを認識し、自分が将来保育に関わる存在であることを自覚して、地域の子育て支援や多世代の交流に協力して取り組もうとしている</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○	1	
							合計
						71	